

持続的成長のための研究・開発

あすか製薬ホールディングスグループの中核であるあすか製薬にて、今後のさらなる成長を担う研究・開発部門の3名の部門長からメッセージをお届けします。

変化に対応した競争力のある組織を目指して

開発本部の役割は、治験の品質を担保しつつ、治験を効率よく進め、一日も早く国から承認を取得することです。最近では、複数の治験が同時進行しており、品質を維持し効率よく治験を進めることがより一層求められます。そのためには、一人ひとりが専門性を高めることでレベルアップし、競争力のある組織に成長していくことが必要です。環境変化の激しいなか、治験の手法にも変化が見られ、さまざまなデジタル技術が導入されています。開発本部でも、産婦人科領域における子宮内膜症に対する第Ⅲ相臨

床試験で、電子的な記録としてデータの信頼性を確保できる「ePRO(イープロ)*」を活用し、効率的に治験を進めた結果、早期に子宮内膜症でお困りの患者さんに医薬品を届けることができました。

女性を取り巻く社会環境も変化しており、産婦人科のリーディングカンパニーの開発を担う部門として、女性の健康や生活の質を改善する、革新的な医薬品の開発を目指していきます。

* ePRO(electronic Patient Reported Outcome):
患者・被験者の情報がリアルタイムに把握できるシステム

柔軟かつ新しい発想で製品の導入・価値最適化に挑戦

今日、女性の健康課題に対応し女性が働きやすい社会環境の整備を進め、生産性向上や企業業績向上につなげる「健康経営」が推進されています。あすか製薬は、子宮内膜症や月経困難症の医薬品などをお届けすることを通じて、女性特有の健康課題の解決に取り組んでいます。一方、女性の健康課題は、小児期・思春期・性成熟期から更年期まで長きにわたり、各ライフステージにおいて大きく変化するため、疾病ベースの対策に加えて包括的な支援が必要といわれています。加えて、女性を取

り巻く社会環境も変化し、また個々の多様性などへの配慮も求められています。

事業開発本部のミッションは、あすか製薬のポートフォリオ最適化・アセットの価値向上を実現し、中長期の成長戦略に貢献することです。そして、多様なニーズ・変化に対応しながら、自社／他社由来の価値ある製品を継続的にお届けできるよう、一歩先を読み、柔軟かつ新しい発想でさまざまな角度からの検討と挑戦を日々進めています。

オープンイノベーションの推進による最先端の創薬研究への挑戦

2023年7月に創薬研究本部長に就任しました。私はこれまで、大手製薬企業において創薬研究に従事した後、創薬ベンチャー企業の立ち上げとその研究所の運営に邁進してきました。また、大学での産学連携部門での経験もあり、さまざまな立場で創薬に携わってきました。私の培ってきた創薬に関する経験と築いてきたネットワークを革新的な製品の創出に向けて最大限に活かしていきます。あすか製薬の掲げる「女性の健康への貢献」の実現に

向け、創薬研究本部では、月経にかかわる疾患、子宮内膜症、不妊症、更年期障害など、女性特有の疾患に対する創薬に注力しています。あすか製薬が長年にわたり蓄積してきた内分泌ホルモン研究の経験に、オープンイノベーションを活用した新たな技術を加えることで、大きなイノベーションを起こします。女性がいきいきと活躍できる社会の実装に向け、研究員の先頭に立ち、一丸となって創薬研究に取り組んでいきます。



■開発本部の概要と取り組み

開発本部は、臨床開発戦略を策定する開発企画部とその戦略に沿って治験を進める臨床開発部から構成されており、各部が連携して開発品の有効性と安全性を見極め、患者さんに一日も早く有用な医薬品をお届けすることを念頭に日々従事しています。

現在もさまざまな開発品をさまざまなステージで開発しています。特に産婦人科領域では、既存の避妊薬の課題である血栓症リスクを低減させることが期待できる避妊薬が最終ステージの第Ⅲ相試験まで進んでおり、長期投与が可能な子宮筋腫治療剤は第Ⅰ／Ⅱ相臨床試験を開始しました。今後も、女性の健康に貢献できる医薬品の開発に取り組んでいきます。



あすか製薬株式会社
執行役員
開発本部長
高梨 正哉

■事業開発本部の概要と取り組み

事業開発本部は、メディカルアフェアーズ部、事業開発部、ポートフォリオマネジメント部から構成されており、①エビデンス構築により製品価値最適化を実現、②国内外でのライセンス・アライアンス活動を展開し、新しい製品を獲得、③産婦人科領域の強化、新規領域の戦略立案によりポートフォリオの最適化を図るなど、“あすかの未来”をつくる業務に従事しています。

2023年3月には、コーポレートベンチャーキャピタル(CVC)ファンドを設立しました。この活動を通じ、スタートアップ企業などとのオープンイノベーションを加速、アラウンドピルといわれる処方薬の周辺領域も含めて事業化の種を撒き、女性の健康課題に対するソリューションをお届けできるよう取り組んでまいります。



あすか製薬株式会社
執行役員
事業開発本部長
小松 順子

■創薬研究本部の概要と取り組み

創薬研究本部は、「湘南ヘルスイノベーションパーク」において、新薬の創出に向け日々研究に取り組んでいます。特に、女性が各ライフステージにおいて健やかな毎日を過ごせるよう、女性特有の疾患に焦点を当てた薬づくりを行っています。そのため、産婦人科の専門医との議論の場を設けることで、患者さんが求めている真のアンメットメディカルニーズを把握できるように努めています。また、湘南ヘルスイノベーションパークに入居している産官学の方々との交流を通じて、積極的にオープンイノベーションを推進しています。協業で得られるさまざまなアイデアや技術を自社の技術と融合させることで、新たな視点から革新的な新薬を生み出してまいります。



あすか製薬株式会社
創薬研究本部長
渡邊 修造